

やって見せ説いて聞かせてやらせてみ  
讚めてやらねば人は動かぬ

山本五十六

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉  
五月

上杉鷹山ようざんの「してみせて 言つて聞かせて  
させてみよ」を基にしたと言われる。  
「ほめる」とはおだてるということではなく、  
共に喜ぶということ。仕事を教えるのには、  
ほめてあげることが秘訣ひけつだと説いた。

出典『山本五十六のことば』

山本五十六 (やまもと いそろく)

一八八四〜一九四三年。新潟県長岡市出身。元帥  
海軍大将。日米開戦に海軍大将として反対するも  
開戦となり、連合艦隊司令長官として真珠湾攻撃  
を指揮した。五十九歳で戦死し、元帥を追贈さ  
れる。この言葉を直接言つたという史料は残されて  
いないが、長岡市堅正寺けんせいじの住職、橋本禪蔵ぜんざう氏が、  
講話の中で山本元帥の言葉として紹介したものが  
現在に伝わっている。

\* 菖蒲あやめの彩りあざやかなこの季節ご参拝の皆さまに「幸多かれ」と祈ります

※あやめ(しょうぶ)

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に  
参拝しましょう